

国内マグネシウム 2016 年需要実績／2017 年需要予測

一般社団法人日本マグネシウム協会

分類\年	2012	2013	2014	2015	2016 実績	前年比	2017 予測	前年比予測
ダイカスト	6,379	5,800	5,800	5,800	5,300	91.4%	5,300	100.0%
鋳物	55	70	70	70	70	100.0%	80	114.3%
射出成形	400	300	300	300	400	133.3%	420	105.0%
展伸材	584	760	700	750	750	100.0%	800	106.7%
その他合金	800	1,030	200	230	200	87.0%	300	150.0%
構造材小計	8,218	7,960	7,070	7,150	6,720	94.0%	6,900	102.7%
アルミ合金添加	19,485	18,800	21,000	20,800	21,500	103.4%	22,000	102.3%
鉄鋼脱硫	4,140	3,950	5,500	5,600	5,500	98.2%	5,500	100.0%
ノジュラー鋳鉄	2,327	2,340	2,725	2,200	2,500	113.6%	2,500	100.0%
チタン製錬	740	60	420	1,000	800	80.0%	600	75.0%
化学・触媒	1,860	1,800	1,800	2,200	2,100	95.5%	2,200	104.8%
添加材小計	28,552	26,950	31,445	31,800	32,400	101.9%	32,800	101.2%
防食その他	606	620	1,200	1,200	950	79.2%	1,000	105.3%
内需小計	37,376	35,530	39,715	40,150	40,070	99.8%	40,700	101.6%
輸出	642	330	575	1,158	600	51.8%	600	100.0%
総需要	38,018	35,860	40,290	41,308	40,670	98.5%	41,300	101.5%

<2016 年の需要実績>

- ①2016 年の国内マグネシウム需要量は、添加材向けの需要が前年比 1.9%増、構造材向けの需要が同 6.0%減、輸出が同 48.2%減となり、全体では 40,670 トンで前年から 1.5%減となった。
- ②マグネシウム合金を使用する構造材向けの需要は、射出成形部門が 300 トンから 400 トンに増加、鋳物、展伸材分野が横ばいの推移となったが、自動車部品や携帯電子機器部品が主な用途となるダイカスト部門が 5,300 トンで前年比 8.6%減と厳しい推移となったことにより、全体では前年比 6.0%減の 6,720 トンとなった。自動車分野など、各分野において活発に需要拡大に向けた研究開発等が行われているものの、大きな需要拡大にはまだ至らなかった。
- ③純マグネシウムを使用する添加材向けの需要は、アルミ合金添加分野とノジュラー鋳鉄分野が前年から増加し、それぞれ前年比 3.4%増の 21,500 トン、同 13.3%増の 2,500 トン、鉄鋼脱硫分野、チタン製錬分野、化学・触媒分野は減少し、それぞれ同 1.8%減の 5,500 トン、同 20.0%減の 800 トン、同 4.5%減の 2,100 トンとなり、全体では前年から 1.9%増加の 32,400 トンと、緩やかではあるが、他材料の動向に合わせて微増での推移となった。
- ④防食その他は、数量のうち約 100 トンが防食向けの需要であり、これはほぼ横ばいでの推移となったが、その他の特殊な用途での需要量が減少し、前年比 20.8%減の 950 トンとなった。
- ⑤輸出は、アメリカ向けのマグネシウム合金地金の輸出量が大きく減少したことにより、前年から 48.2%減の 600 トンとなった。

<2017 年の需要予測>

- ①2017 年の国内マグネシウム需要量は、全体で 41,300 トン、前年比 1.5%増になるものと予測した。
- ②構造材向けの需要は、輸送分野をはじめとする各分野における研究開発等が進められるものの、成果が始めるにはまだ少し時間がかかるものと見られることから、ダイカストが 5,300 トン、鋳物が 80 トン、射出成形が 420 トン、展伸材が 800 トン、その他合金が 300 トンと横這いから微増と見込んでおり、合計で前年比 2.7%増の 6,900 トンになるものと予測した。
- ③添加材向けの需要は、アルミ合金添加、化学・触媒分野で若干の増加、チタン製錬分野での減少が予想され、全体では 32,800 トン、前年比 1.2%の微増と予測した。
- ④防食その他及び輸出は横ばいで推移するものと予測し、それぞれ 1,000 トン、600 と予測した。